

個々の問題の出題の意図及びその正答率

理科 中学校1年

評価の観点等
 1 科学的な思考
 2 観察・実験の技能・表現
 3 自然事象についての知識・理解

領域	大問	問題番号		出題の意図	評価の観点等			正答率	
		小問	通番		1	2	3		
第1分野	1	1	1	光の反射のきまりを用いて、作図できる。		○		80.7	
		2	2	鏡による像の見える範囲を光の反射のきまりから考えることができる。	○			64.8	
		3	3	光が空気中から水中に垂直に入射するときは、光はそのまま直進することを理解している。			○	50.3	
		4	4	光が水中から空気に入射するときは、光は境界面に近づくように屈折することを理解している。			○	64.1	
	2	1	5	力を、力のはたらく点、力の向き、力の大きさから矢印で表すことができる。		○		65.8	
		2	6	物体にはたらく重力の大きさと圧力の関係について考えることができる。	○			43.9	
		3	7	圧力の求め方を理解している。			○	32.7	
		4	8	圧力の大きさが接触面積によって変わってくることを考えることができる。	○			56.6	
	3	1	9	気体のにおいをかぐ方法を身に付けている。		○		76.5	
		2	10	発生する気体とその確認の仕方を理解している。			○	47.9	
		3	11	気体の性質と関連付けて、その発生方法を理解している。			○	65.5	
		4	12	身近なもので二酸化炭素を発生させる方法について説明できる。		○		35.2	
	4	1	13	ろ過の操作を習得している。		○		77.5	
		2	14	水に溶けていない物質はろ過により分離できることを理解している。			○	64.6	
	第2分野	5	1	15	顕微鏡を使って身近な生物を観察する操作を身に付けている。		○		60.8
			2	16			○		54.7
3			17	植物の体(茎)のつくりを理解している。			○	71.0	
4			18	単子葉類と双子葉類の違いについて理解している。			○	64.5	
6		1	19	光合成を調べる実験に必要なエタノールの役割について説明できる。		○		88.4	
		2	20	光合成のはたらきとヨウ素液の反応を関係付けて考えることができる。	○			62.3	
		3	21	葉緑体の必要性を実験結果から考えることができる。	○			60.1	
7		1	22	蒸散を調べる実験でガラス管を使う理由が説明できる。		○		79.3	
		2	23	蒸散にかかわる気孔の働きを理解している。			○	67.8	
		3	24	蒸散が葉で行われることを確かめる方法等を考えることができる。	○			53.8	
8		1	25	石こうを使った実験から溶岩のねばりけと火山の形の関係について考えることができる。	○			59.5	
		1	26	成層火山としての富士山の形を理解している。			○	87.6	